

# C up ワールド

## 2002年4月号

### 2002年3月の山行記録



#### 講習山行

雪山を学ぶ会 雪洞体験 / 谷川岳・天神尾根  
3月2日～3日

#### 参加者

原直之、浅野洋一郎、矢沢悦子、中島和美、末木俊之、新井元治、新井かよ子、山口慶子、田口浩昭、横川秀樹(本科生 10名) 宮崎将人、高橋裕樹(ゲスト 2名) 向原侑希、沢口千鶴子(同人 2名、CU) 小林英男(講師) 計15名

#### 天候

晴

#### 行程

一日目：天神尾根にて雪洞をつくり、泊まる。  
二日目：谷川岳登頂。

#### 講習のポイント

雪洞の作り方  
雪洞の中でのビバーク生活

#### 感想

天候にも恵まれ素晴らしい体験が出来ました。出だし、集合場所でのトラブルがありましたが、全員無事集合。今回はゲスト2名も車参加でしたので、浅野さん、沢口さん、矢沢の計5台に分乗して水上駅から天神平ロープウェイ乗り場まで。終点から(リフトは使用不可でした)天神尾根へ。上に行くほど雪も多くなり安心しました。小林さんご推薦の場所は先客ありでしたが、適切なる場所を直ぐに確保され、2班に分かれて、小林講師指導のもと全員汗を流しながら子供に戻ったように楽しい楽しいと夢中で雪洞作りに励みました。時々相手の雪洞を覗き合っては、どっちが拾いの、

早いのと競争でした。その間、向原さんは一人で立派なトイレを作ってくれました。とても快適な広々とした雪の白い空間です。出来上がりまでの所要時間は約3時間程。お腹はグーグーです。でも、出来上がった部屋にもぐりこんで、夫々の場所に落ち着き入り口をチェルトで塞ぎ、ローソクを5、6本も立てると、すごい!!雪の御殿が現れました。さあ、炊飯の準備です。各自思い思いの夕食を食べ一息ついてから、輪になって団欒タイム。ゲスト2名の自己紹介ですっかり盛り上がりました。とっても熱心なお二人で小林講師にいろいろ質問されて、その解説あり、講釈あり、チャチャ入れありで、全員一周するのに2時間近くかかり、小林さんが「いやー、こんなに時間のかった自己紹介は初めてだよ!!」と、大爆笑。明日のこともあり、就寝タイム。雪洞内は暖かいとは聞いていましたが、ホント!全然寒くない!!快適に眠れました。とにかく8名がゆったりと横になれ、荷物もゆっくり置ける広さです。雪の宮殿の王妃(ちょっと年増!)になった心境でした。

翌朝は天候も問題なしとの講師の判断で登頂の指示が出て、不要は荷物は雪洞内にデポ。登りながら、小林さんが「急がないでゆっくり楽しんで登ってね」と何度も皆に指示されました。とっても印象に残る言葉でした。雪は締まっていて歩き易く、あっという間に頂上に着いたように感じました。登・下山中にも本当にいろいろ適切に指導があり、とても為になる講習でした。最後の反省会では大変為になったことと、思いがけず谷川岳頂上に立てた喜びを皆さんが述べておられました。厳しいところあり、為になるところ×2乗あり、そして文句なしに楽しいところあり、の小林講師。来年も参加したいです。

報告者：矢沢悦子



**講習山行**

**山スキーと友達になる会 / 信越・高峰スキー場**  
**3月9日～10日**

講習に参加したいと思っています。

報告者：末木俊之



**参加者**

末木俊之（本科生）岩本一郎（研究生）  
末木久美子（ゲスト）松浦寿治（講師） 計4名

**行程**

一日目：（高峰スキー場）佐久平駅集合。高峰スキー場へ移動。初級者コース低部にて山スキーを装着し歩く練習。その後ブルークボーゲンでの方向転換などの初歩のスキー練習。午後は山スキーにシールを装着してゲレンデ脇の山（標高差50M程度、斜度30度程度の斜面）を頂上まで登る。シールを着けたまま山スキーで下山。四阿高原ホテル泊。

二日目：（菅平スキー場）午前、初級者コースにてブルークボーゲンでの滑走練習。午後、菅平スキー場コース最上部からゲレンデを外れ、牧場、灌木の中を滑る練習。

**講習のポイント**

踵が上がる状態での山スキーによる歩行練習。  
シール装・脱着方法の講習。  
シール装着での山スキーによる登山実習。  
ゲレンデにおけるスキー基本技術練習。

**感想**

山スキーでの歩行は楽だった。1日目、斜度30度くらいの斜面をまるで滑るように楽に登ることができた。登山不慣れなゲスト（実は私の妻）は息が切れて大変だったようだ。灌木を縫って急斜面を下山するのは初心者の私には困難だった。ちょっと急な斜面だとボーゲンでスピードを殺すことができず転倒しながらもなんとか松浦講師の後について滑る。山の頂上から見た雄大な浅間山周辺の山々は、全て山スキーで歩けそうな感じだった。こういう山域を山スキーで徘徊するのも楽しそうだと思った。松浦講師、岩本さんによるマンツーマンレッスンのおかげで、ボーゲンで方向転換して初級者コースを滑れるようになりました。ありがとうございました。暫くはゲレンデ練習に取り組んで、上級コースを滑れるようにしてぜひ来期は本格的に山スキーの

**講習山行**

**雪山と友達になる会 / 谷川岳・西黒尾根**  
**3月15日～17日**

**参加者**

茨木嘉道、吉国好道、長田幸子、本田興平、新井元治、新井かよ子、山口慶子、横川秀樹（本科生8名）金沢（講師）松本（同人） 計10名

**行程**

土合駅～西黒尾根～谷川岳山頂～天神尾根  
谷川岳ロープウェイ～土合駅

**講習のポイント**

雪庇、雪崩に留意する。  
雪稜歩行の訓練。

**感想**

雨の中出発したが、登頂時には晴れ、展望が得られた。稜線上も天候の割には風も無く、気温も高かった。雪も良く締まっており、快適な山行であった。個人的には、このところ荷を背負って歩くことに御無沙汰だった為、体力低下を痛感した。

報告者：本田興平



**講習山行**

**雪山を楽しむ会 / 横川・霧積温泉から鼻曲山**  
**3月23日～24日**

**参加者**

影山暁子、矢沢悦子、山野昭人、山野美香、坂本由以、末木俊之（本科生6名）浅子裕子（遠足クラブ）井上（山塾OB）松浦（講師） 計9名

**行程**

一日目：信越線横川駅改札口16時15分集合。霧積温泉金湯館泊。  
二日目：朝8時旅館出発。雪がほとんどなく普通

の春山の霧困気の山道を登る。一箇所右側が谷で氷化した雪に覆われた危険な箇所があった。10時鼻曲山頂上に到着。頂上付近雪は無し。目の前に浅間山の雄大な眺望が広がっていた。帰路は、尾根伝いに軽井沢駅方面に下山。標高差100M程度のピークを2つ(留夫山、一ノ字山)ほど超える。一ノ字山の北斜面は雪に覆われ、雪山歩きを楽しめた。一ノ字山以後は、熊野神社まで雪の無い単調な下山道だった。熊野神社からはハイキングコースを歩き軽井沢市内に入った。軽井沢市内に14時到着。軽井沢からバスで横川駅に向かうグループと新幹線にて帰宅するグループに別れ解散。

山行のポイント

入門レベルの雪山登山。雪があまり無い春山登山となったが、氷化した雪道も残りそれなりに危険。浅間山を中心とした北軽井沢の山域を経験。

感想

雪のある斜面は2箇所ほどしか無かったが、やはり楽しい。ゆっくりと雪を踏みしめて登る感触は妙に楽しいものがある。今回は私が隊の先頭を歩いた。自分のペースで歩けるというのは楽しかった。迷う要素の少ない分かりやすいルートだったのだろうが、地図を見て頭の中でイメージしたのと実際の風景には食い違いがあり緊張する。また雪に覆われた山に先頭で入って行くというのも緊張する。今回北軽井沢の山々の霧困気を経験することができたので満足でした。先頭で歩くと自然と前後、左右を見回せるのでいいですね。いずれ雪に覆われたこの山域を歩いてみたいと思います。

報告者 末木俊之



講習山行

海の岩場を楽しむ会/伊豆域々海岸富戸エリア  
3月30日~31日

参加者

影山暁子、水上宏一郎、渡部吉実、矢沢悦子、新井元治、新井かよ子、遠藤未美、山口慶子(本科生8名) 沢口(同人)、松浦(講師) 計10名

行程

一日目:富戸カメノテエリア・カメノテボルダー・バンブー対岸にて4m~8mほどトプロープを5本と8mほどのリードを1本セット。  
二日目:富戸フナムシロックにて10m以下のトプロープを5本(いずれも5.8以下のルート)

講習のポイント

トプロープのセット(立木を利用した支点)  
トプロープ・リードでのクライミングとビレイ  
リードクライミングで終了点がエイト環などリング状の場合のロープの通し方  
ボルダーエリアでムーブの練習

感想

講習当日は、2日とも晴天に恵まれる。東伊豆の温暖な気候の中、波しぶき上がる海をバックにクライミング&のんびり。

まずはトプロープのセットから。既存ボルトの無い場所で立木を利用して2点以上から支点をとる。1日目は20期以上の人達がセットし、2日目は21期生もセットしてみる。もちろん後でチェックしてもらおう。実はこれが一番緊張した。まだ身体が慣れてない時に、巻くとはいえ高いところに行って慣れない作業。ハギレロープと長めのスリングの必要性を実感。私と新井元治さんが仕込んだロープはスリングが短く、ロープが多少岩に当たっていて流れが悪いかも、と懸念されたが、やってみて良くなければ直すことにする(結局直さなかった)。

そしていざクライミング。高みに行くと、蒼い海と空、奇岩、と、岩を攀じなければ見られない景色が広がる。はじめてのジャミング。始めは集中力がなくて手の甲が痛いのが気になった。結局習得したとは言いがたい。ボルダーのできる所でレイバックをかじる。結構腕の力がある。

私自身はどのルートも完登できなかった、と言った方が近い、が楽しめた。

今回の諸ルートはクラック、コーナー、フェイスあり。ホールドもジャム、ステミング、ピンチグリッブなど多様。私のような初心者にとっては挑戦しがいのあるルートでした。

報告者 山口慶子



3月の講習では、この他、ロッククライミングを学ぶ会として丹沢・広沢寺の岩場の講習もありました。

(3/30 2:00 時点)

報告者 矢田 実

△△△△△△△△△△△△△△△△

△△△△△△△△△△△△△△△△

**編集局から**

**自主山行  
オオカミ(冬季カモシカ)山行/北八ヶ岳  
3月30日~31日**

**参加者**

矢田 実 L 松本 善行 SL  
金沢 和則 坂口 理子 計4名

**天候**

曇

**行程**

北八ヶ岳を中心に計画。  
茅野発(バス最終便)19:00 - プール平着 19:37-20:00 出発 - 蓼科山登山口 - 蓼科山 - 大河原 - 双子山 - 双子池 - 北横岳 - 坪庭 - 縞枯山荘 - 雨池峠 - 縞枯山 - 茶臼山 - 麦草峠 - 丸山 - 白駒峠 - 白駒池 - ニュウ - 中山峠 - 黒百合ヒュッテ - 洪ノ湯  
(10:30~11:00 下山予定)  
歩行時間 13時間~14時間(休憩含まず)  
ルート変更の可能性有り

**山行のポイント**

- 月明かりを利用した、冬季カモシカ山行雪山登山の幅を広げる
- エスケープルートの確保
- 山小屋の有無
- 夜間のルートの上りダウンが少ない
- 整備された登山道とトレースの有無
- 危険箇所が少ない。
- 月の明かりが利用できる地形
- 集合の問題も考え、遠方は除く
- 晴天率の高い山域

**感想**

今回の企画は、現地の天候不良(曇、月明かりを利用するため)メンバーの不参加、体調不良等の諸事情により中止となりました。

夜間を含めた長時間歩行であるカモシカ山行を冬季に行くとオオカミになると初めて知りました。ちなみに、カモシカ山行の語源としてカモシカのように山から山へと身軽に縦走することだ、という説があるようです。

さて、次回5月号は4月から5月連休までの山行報告を中心にお届けする予定です。

下山後には道具の整備や洗濯から、休暇検出のついでに仕事の山かもしれませんが、山行の記憶が遠のく前に山行報告をしていただくことで、山の記憶がより確固としたものにする事ができます。ご報告は無名山塾ホームページの山行報告入力フォームで送信されると自動的に編集局に登録されますのでご活用ください。

もちろん FAX その他で山塾サポートへお送りいただいても結構です。

みなさまのご協力をお願いします。

**アドレス**

C-UP ワールド

<http://member.nifty.ne.jp/c-up/>

無名山塾

<http://www.sanjc.com>

山塾サポート

[RXL13656@nifty.ne.jp](mailto:RXL13656@nifty.ne.jp)

Phone & Fax 03-3600-3570

i モード

<http://member.nifty.ne.jp/c-up/i.htm>